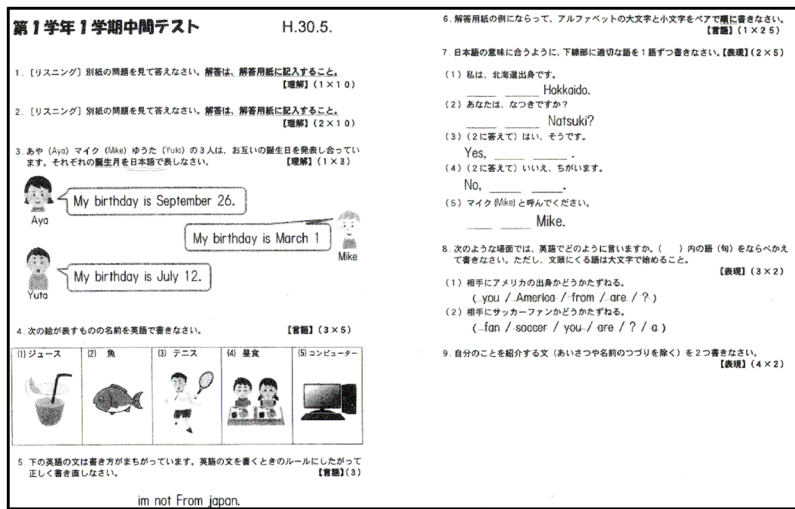


**Topic 中学校の英語がとて難しくなりました!**

私は年間80回近くの各種教育セミナーに出席し、教育に関する最新の情報を集めています。そして、それらを毎月『QUEST NEWS』という塾報を通じてご家庭にお知らせしております。今回は『QUEST NEWS 2021年6月号』でご紹介した記事にいくつか付け足しをしたものをご紹介します。

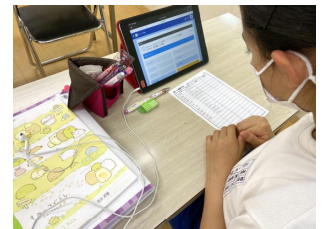
中学校の教科書が大幅に変わりました。どの教科もSDGsなど最新のテーマをふんだんにとり入れた内容になっています。特に英語は「大学入試からの逆算」として、大幅に改定されました。

さて、「中学最初の中間テストの英語」って、みなさんはどんなイメージがありますか？たぶんこんなイメージではないでしょうか。



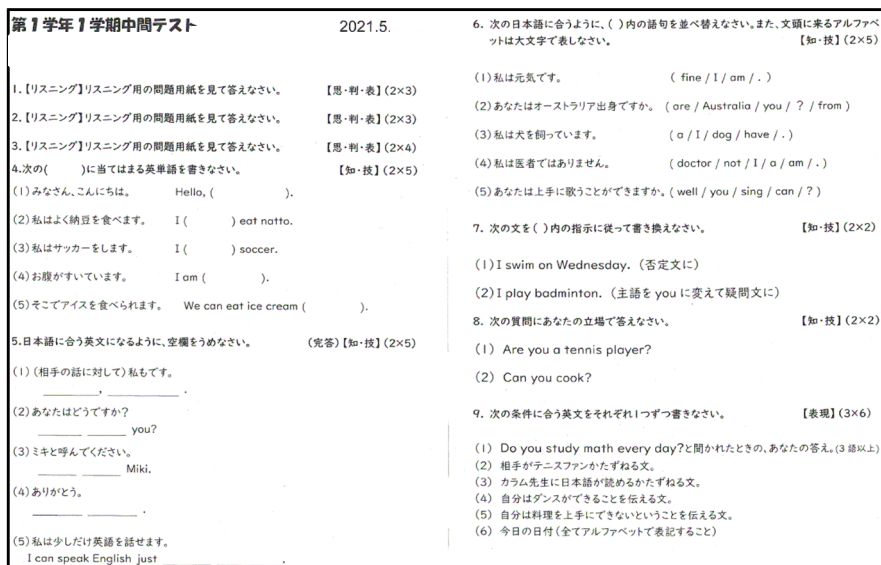
私が塾で仕事をするようになってから、30年以上ずっとこんな感じのテストでした

**「全員が中学校で初めて習う」という前提**で作られています



\*以前ある中学校で出題された問題です

でも今回のテストではこんな感じで出題された学校もあります (一部抜粋)



→ **アルファベット・ローマ字は一切出題されていません**

→ 今までであれば**一学期期末テストの範囲**です

→ ここが一番変わったところ**です小学校の教科書で習ったことを書かせる問題**が出ています  
月の名前・序数を書けるのが当たり前となっています

これが**「人生で初めて」**の定期テストです。 強調したいのは...

**単語や文をたくさん書かせる**ということです。

確かに小学校でこの内容は学習しているのですが、小学校では

**「書くこと」はほとんどやっていません**

また、中学校（全国どこでも）では

## 「ある程度のことは小学校でやって覚えてるでしょ？」 という前提で授業を進めています

学校によってはここまで難しくなかったので、「この問題はちょっと難しすぎかな？」という印象も受けます。でも、私が参加した数々の英語教育セミナーに登壇された先生方は、教科書が変わったのは事実なので、今後はどの学校も「書かせる問題がたくさん出てくる」と口をそろえておっしゃっていました。

ではどうすればよいのでしょうか？

お子さんが中学校に入学して、ほかの科目と同じように「英語って楽しい！」と言ってほしい。親なら誰しも思いますよね。そのためには「**早いうちから英語に触れる機会を多く作ること**」が間違いなく必要となります。

ですから、国語・算数などと同じように、家でも毎日5分でいいから発音練習・単語の暗記をできるようにさせてあげてください。特に聞き取りは時間をかければかけるほど上達します。英語にたくさん触れている群馬国際アカデミーのお子さんが小6で準2級をとっていることがその証明となります。

しかしながら、個人的には、「小学校卒業までは母語である日本語を扱う能力をひたすら高めることが最優先」だと考えています。



人はコトバでものを考えます。「人間としての発達段階」にある小学生の時期は、**日本語の単語をたくさん覚え、それらを適切に使いこなす訓練を積んでいき、耳にすること・書かれていることを正確に理解できる能力を徹底的に高めておく**が必要だと思います。それが不十分なので、問題文に書いてある内容を正確に理解することができない（例 数学の文章題）、他人とのコミュニケーションを適切にとれないということになると感じています。

ですから、私たち大人は、普段から子どもと「日本語によるコミュニケーション」をする機会を**意識して**作っていきましょう。ポイントは、

## ジェスチャー（うなづく・首を振る など）で終わらせない 短いコトバで終わらせない

ということ意識していくことが大切です。クエストの指導は、国語でも算数でもお子さんと講師が対話をしながら学習をしていくことをとても大切にしています。英語については、ご家庭での英語学習が「生活の一部」になってもらえるよう、これからも指導していきます！

この話はぜひ近所や職場のお仲間に話してあげてください。一人でも多くのお父さん・お母さんがこの事に早く気付かれることを祈るばかりです。そして、お子さんが中学生になって「英語？ 無理！ キライ！」とならないためにも、「学校でやってるんだから、まあ大丈夫でしょ？」と思われる方が一人でも減っていくことを心から祈っています。**どこの塾でも・何の教材でもいいです。お子さんのために早く動いてあげてください！** もし、「クエストで」ということになるようでしたら、小学部にはまだ空きがありますので、ぜひご連絡ください！！

子どもはみんな「自分に自信をもってキラキラ輝くように」生まれてきています。それが、勉強で自信をなくしてしまって「いいよ。どうせできないし」「オレ（ワタシ）なんて、どうでもいいんだよ」と自己重要感を下げちゃう子が増えないでほしい……これが私の切なる願いです。 塾長 古口 徳夫

